令和6年度 網走市における景気動向調査 <第1四半期>

報告書

網走商工会議所

目 次

第1章 調査要領

	1 - 1	調査時点及	び調査	対象	象期間	•	• •	•	•	 •	•	•		•	•	•	•	• •	•	•	•	•	•	•	1
	1 - 2	調査対象・		•		•			•	 •	•	•				•	•		•	•	•		•		1
	1 - 3	調査方法・		•		•		•	•	 •	•	•		•	•	•	•		•	•	•	•	•		1
	1 - 4	回収状況·		•		•		•	•	 •		•		•	•	•	•		•	•	•	•	•		1
第2章	概況																								
	2 - 1	全体の動き		•		•		•	•	 •	•	•		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	2
	2 - 2	業種別の動	き・・	•		•		•	•	 •	•	•		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	3
		1)建設業		•		•		•	•	 •	•	•		•	•	•	•		•	•	•	•		•	3
		2) 製造業		•				•						•	•	•	•		•	•		•		•	4
		3)卸売業		•				•						•	•	•	•		•	•		•		•	4
		4)小売業		•		•		•		 •				•	•		•		•	•		•		•	5
		5)サービ	ス業・	•				•						•		•	• •		•	•		•		•	5
第3章	業種別	設備投資の料	犬況 ・	•		•		•	•	 •	•	•	• •	•	•	•	•		•	•	•	•	•	•	ϵ
第4音	業種別 :	経営上の問題	頭占 ・			•		•					•			•						•			,

第1章 調査要領

1-1. 調査時点及び調査対象期間

(1) 調 査 時 点 : 令和6年4月1日(月)~令和6年6月30日(日)

(2) 調査対象期間: 令和6年4月~6月期実施、及び令和6年7月~9月見通し

1-2. 調査対象

網走市に所在する建設業 (30 件)、製造業 (24 件)、卸売業 (20 件)、小売業 (40 件)、サービス業 (44 件) の 158 社を調査対象とした。

1-3. 調査方法

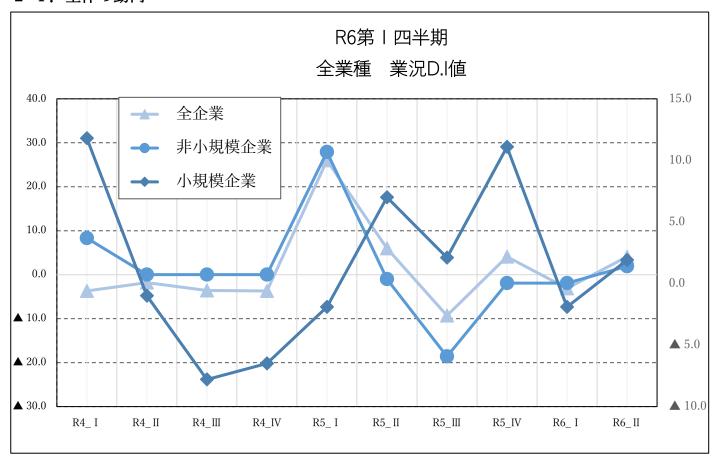
調査対象に案内文と調査票を送付し、FAXもしくは同封の返信用封筒による郵送、インターネット (Google フォーム) による返信にて回答を受ける。

1-4. 回収状況

企業数 業 種	対象企業数	回答企業数	回答率
建設業	30件	20 件(非小規模企業: 12 件、小規模企業: 8 件)	66.7 %
製 造 業	2 4件	16 件(非小規模企業: 8 件、小規模企業: 8 件)	66.7 %
卸売業	20件	10 件(非小規模企業: 5 件、小規模企業: 5 件)	50.0 %
小売業	40件	28 件(非小規模企業: 16 件、小規模企業: 12 件)	70.0 %
サービス業	44件	24 件(非小規模企業: 12 件、小規模企業: 12 件)	54.5 %
合 計	158件	98 件	62.0 %

第2章 概況

2-1. 全体の動向



令和6年度第 I 四半期(4月~6月)の全企業業況は、前年同期に比べ、「好転企業」17.3%、「悪化企業」20.4%となり、「好転企業」から「悪化企業」を差し引いた D.I.値は \triangle 3.1 となり、前回(D.I.値 4.1)に比べ、その差は7.2 ポイント悪化傾向となっています。

非小規模企業の業況は前年同期に比べ、「好転企業」17.0%、「悪化企業」18.9%となり、「好転企業」から「悪化企業」を差し引いた D.I.値は \triangle 1.9 となり、前回(D.I.値 \triangle 1.9)に比べ、その差は 0 ポイントとなっています。

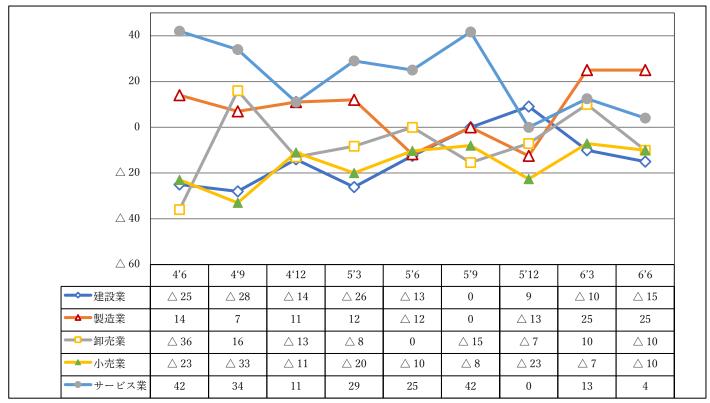
小規模企業の業況は前年同期に比べ、「好転企業」17.0%、「悪化企業」18.9%となり、「好転企業」から「悪化企業」を差し引いた D.I.値は \triangle 1.9 となり、前回(D.I.値 11.1)に比べ、その差は 13.0 ポイント悪化傾向となっています。

次期(7月~9月)見通しとして全企業の業況は、今期に比べ「好転企業」18.4%、「悪化企業」14.3%となり、「好転企業」から「悪化企業」を差し引いた D.I 値は 4.1 となり、今期(D.I.値 \triangle 3.1)に比べ、その差は 7.2 ポイント好転傾向となっています。

非小規模企業の次期業況見通しは、今期に比べ「好転企業」18.9%、「悪化企業」17.0%となり、「好転企業」から「悪化企業」を差し引いた D.I.値は 1.9 となり、今期(D.I.値 $\triangle 1.9$)に比べ、その差は 3.8 ポイント好転傾向となっています。

小規模企業の次期業況見通しは、今期に比べ「好転企業」18.9%、「悪化企業」17.0%となり、「好転企業」から「悪化企業」を差し引いた D.I.値は 1.9 となり、今期(D.I.値 \triangle 1.9)に比べ、その差は 3.8 ポイント好転傾向となっています。

2-2. 業種別の動向



1) 建設業

完成工事高

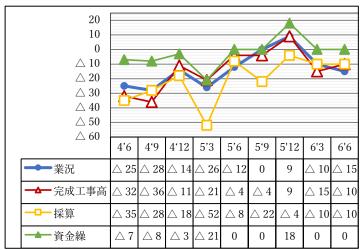
前年比で「好転企業」20.0%、「悪化企業」30.0%、D.I.値 $\triangle 10.0$ と前年同期($\triangle 4.2$)に比べ5.8 ポイントの悪化傾向を示しました。

採 算

前年比で「好転企業」20.0%、「悪化企業」 30.0%、D.I.値△10.0 と前年同期(△8.3) に比べ1.7 ポイントの悪化傾向を示しました。

来期見通し

業況 D.I 値 20.0 (前年同期 D.I 値△8.4)、 完成工事高 D.I.値 10.0 (同△8.3)、 資金繰り 20.0 (同△4.2) と前年同期に比べ、 全ての見通しで好転傾向を示しました。





2) 製造業

生 産 高

前年比で「好転企業」31.3%、「悪化企業」 18.8%、D.I.値 12.5 と前年同期(5.9) に比べ 6.6 ポイントの好転傾向を示しました。

採 算

前年比で「好転企業」37.5%、「悪化企業」 12.5%、D.I.値 25.0 と前年同期(△23.6) に比べ 48.6 ポイントの好転傾向を示しました。

来期見通し

業況 D.I 値 \triangle 12.5 (前年同期 D.I 値 \triangle 5.8)、 生産高 D.I 値 \triangle 6.3 (同 \triangle 5.9)、資金繰り 0.0 (同 0.0) と前年同期に比べ、2 つの見通しで 悪化傾向を示しました。

3) 卸 売 業

売 上 高

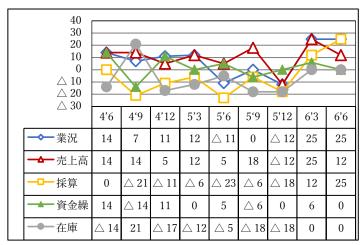
前年比で「好転企業」10.0%、「悪化企業」 0.0%、D.I.値 10.0 と前年同期 (0.0) に比べ 10.0 ポイントの好転傾向を示しました。

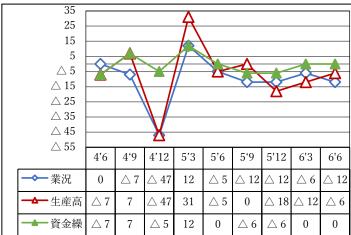
採 算

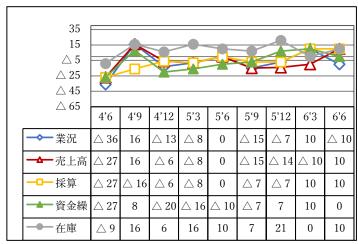
前年比で「好転企業」20.0%、「悪化企業」 10.0%、D.I.値 10.0 と前年同期 (0.0) に比べ 10.0 ポイントの悪化傾向を示しました。

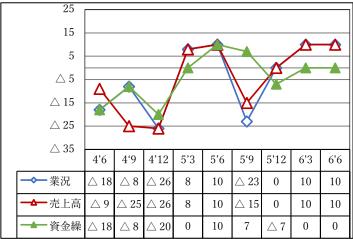
来期見通し

業況 D.I 値 10.0 (前年同期 D.I 値 10.0)、 売上高 D.I.値 10.0 (同 10.0)、資金繰り 0.0 (同 10.0) と前年同期に比べ、1 つの見通しで は悪化傾向を示しました。









4) 小 売 業

売 上 高

前年比で「好転企業」7.1%、「悪化企業」 17.9%、D.I.値△10.7 と前年同期(0.6) に比べ 11.3 ポイントの悪化傾向を示しました。

採 算

前年比で「好転企業」3.6%、「悪化企業」 21.4%、D.I.値△17.8 と前年同期(△23.6) に比べ5.8 ポイントの好転傾向を示しました。

来期見通し

業況 D.I 値 \triangle 14.3(前年同期 D.I 値 \triangle 7.3)、 売上高 D.I.値 \triangle 10.7(同 \triangle 2.8)、資金繰り \triangle 14.3(同 \triangle 6.9)と前年同期に比べ、 全ての見通しで悪化傾向を示しました。

5) サービス業

売 上 高

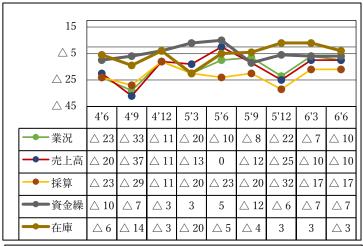
前年比で「好転企業」25.0%、「悪化企業」 20.8%、D.I.値 4.2 と前年同期(16.6) に比べ、12.4 ポイントの悪化傾向を示しました。

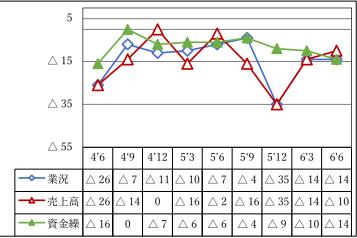
採 算

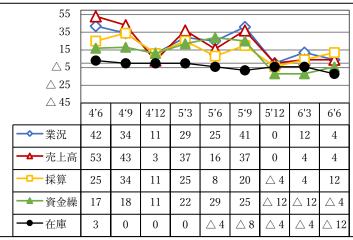
前年比で「好転企業」25.0%、「悪化企業」 12.5%、D.I.値 12.5 と前年同期(8.3) に比べ 4.2 ポイントの好転傾向を示しました。

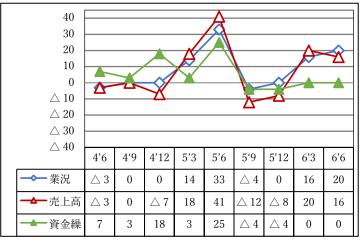
来期見通し

業況 D.I 値 20.8 (前年同期 D.I 値 33.4)、 売上高 D.I.値 16.7 (同 41.7)、資金繰り 0.0 (同 25.0) と前年同期に比べ、全ての見通しで 悪化傾向を示しました。









第3章 業種別設備投資の状況

今期の設備投資の有無と設備内容について調査し、業種別に統計しました。 設備投資の有無は表1のとおり、設備内容は表2のとおりです。

表1 業種別設備投資の動向

	建設業	ŧ	制造	<u></u>	卸売	業	小 売	業	サービ	ス業	全 業	種
実施した	5	件	3	件	0	件	0	件	1	件	9	件
実施していない	15	件	13	件	10	件	28	件	23	件	89	件
△ →	20	件	16	件	10	件	28	件	24	件	98	件

表 2 業種別設備投資の内容

	建設業	ŧ	製造	業	卸売	業	小売	業	サービス	業	全 業	種
土 地	1	件	0	件	0	件	0	件	0	件	1	件
店 舗	0	件	0	件	0	件	0	件	0	件	0	件
販売設備	0	件	0	件	0	件	0	件	0	件	0	件
車輛運搬具	3	件	1	件	0	件	0	件	1	件	5	件
付帯設備	2	件	2	件	0	件	0	件	0	件	4	件
0 A 機 器	0	件	0	件	0	件	0	件	0	件	0	件
福利厚生施設	0	件	0	件	0	件	0	件	0	件	0	件
その他	0	件	0	件	0	件	0	件	0	件	0	件
合 計	6	件	3	件	0	件	0	件	1	件	10	件

※複数回答あり

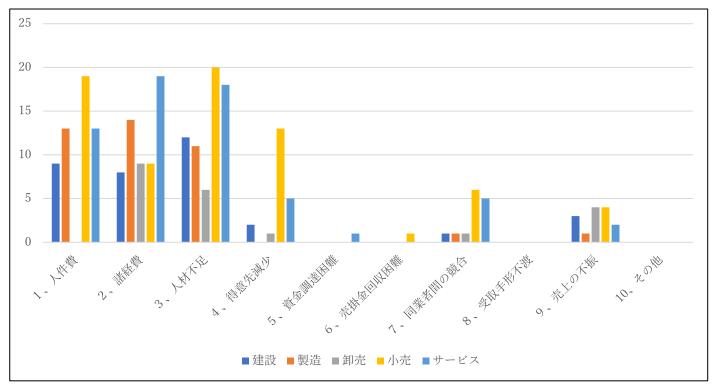
○全業種でみると設備投資に実施したのが9件、実施していないが89件となりました。前回は設備投資を実施したのが13件、実施していないが85件でありました。また、設備内容として最も多かったのは車輛運搬具、付帯設備、次いで土地となっています。前回も車輛運搬具が最も多く、付帯設備が2番目に多く占めていました。

第4章 業種別 経営上の問題点

表 1 業種別上位

	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
建設業	人材不足	人件費増	諸経費増	売上の不振	得意先減少
製造業	諸経費増	人件費増	人材不足	同業者間の競合 売上の不振	_
卸売業	諸経費増	人材不足	売上の不振	得意先減少 同業者間の競合	_
小 売 業	人材不足	人件費増	得意先減少	諸経費増	同業者間の競合
サービス業	諸経費増	人材不足	人件費増	得意先減少	売上の不振
全業種	人材不足	諸経費増	人件費増	得意先減少	同業者間の競合 売上の不振

グラフ1 業種別件数



※複数回答あり

○全業種でみると前回調査に引き続き、上位5位までの順位に変動はありませんでした。また、業種別でみると、全業種で「人材不足」、「諸経費増」、「人件費増」が多く占めており、建設業、小売業では前回同様、「人材不足」が多く占め、製造業、卸売業、サービス業では「諸経費増」が多く占めました。